

日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 28 回 輸送容器分科会 (F3SC) 議事録

1. 実施日時 : 平成 30 年 11 月 27 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 30
2. 実施場所 : 原燃輸送(株) 本店 大会議室
3. 出席者 : (敬称略)
(出席委員) 久保 (主査), 浅見, 松岡, 清水, 大岩, 道券 (6 名)
(代理出席委員) 北山 (木倉代理) (1 名)
(出席委員候補) 高月, 北瀬, 村松, 溝渕, 影山, 山岡 (6 名)
(欠席委員) なし
(欠席委員候補) 水谷 (1 名)
(常時参加者) 丸岡 (菱田代理), 八木橋 (福田代理), 伊藤 (千) (南波代理), 蓬田,
高橋 (純), 伊藤 (賢), 樋口, 菊池 (8 名)
(欠席常時参加者) 広瀬, 高橋 (秀) (2 名)

4. 資料

- 第 28 回輸送容器分科会座席表, 議事次第
F3SC28-1 第 27 回 輸送容器分科会議事録 (案)
F3SC28-2 人事について (輸送容器分科会)
F3SC28-3 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準: 2013」の改定について
<参考資料>
F3SC28-参考 1 輸送容器分科会委員一覧
F3SC28-参考 2 輸送容器分科会常時参加者一覧

5. 概要

日本原子力学会標準委員会原子燃料サイクル専門部会 第 28 回 輸送容器分科会 (F3SC) が開催され, 委員の選任及び「使用済燃料・混合酸化物・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準: 2013」の改定方針確認, 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物・低レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準: 2008」 「低レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準: 2008」の改定要否確認, および輸送容器分科会スケジュールについて確認を行った。

6. 内容

(1) 出席者の確認

事務局 (溝渕委員候補) より, 7 名の委員中, 代理出席を含め 7 名の委員の出席があり, 分科会成立に必要な委員数 (5 名以上) を満足している旨の報告があった。

(2) 前回議事録 (F3SC28-1)

事務局から前回議事録の内容が説明された。コメントがある場合は、一週間を目途に事務局（溝渕委員候補）に連絡することが確認された。

(3) 人事について

a. 退任委員の報告

主査より、F3SC28-1 に示される 10 名の委員の退任が報告された。

b. 新委員の選任

F3SC28-1 に示される 7 名の委員候補が推薦された。決議の結果、7 名を新委員として選任した。

c. 常時参加者の登録解除の報告と新規登録希望の承認

主査より、F3SC28-1 に示される 8 名の常時参加者の登録解除とともに、F3SC28-1 に示される 10 名の登録希望がある旨報告があり、承認された。

d. 主査の確認

本分科会の主査として、久保主査が継続することについて確認、承認された。

e. 副主査及び幹事の指名

主査より、副主査に浅見委員、幹事に高月委員の指名があり、承認された。

(4) AESJ-SC-F006:2013 「使用済燃料・混合酸化物・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：2013」改定方針確認

標記標準の改定について審議を行い、内容の検討を開始することが承認された。

(5) AESJ-SC-F001:2008 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物・低レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準：2008」AESJ-SC-F013:2008 「低レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準：2008」の改定要否確認

輸送容器分科会が作成した標記標準について、改定要否について審議を行い、内容の検討を開始することが承認された。

(6) 原子燃料サイクル専門部会及び標準委員会での活動報告

事務局（溝渕委員）より、委員の選任及び輸送容器分科会が策定した 3 つの標準の改定内容の検討を開始することについて、原子燃料サイクル専門部会及び標準委員会にて審議に諮る旨の報告があった。次回原子燃料サイクル専門部会は 11 月 28 日、標

準委員会は3月6日（事務局の誤認で12月5日が正しい）に開催される予定。専門部会への活動報告は、主査の都合により、幹事と事務局が出席して説明を行う。

（6）今後の予定

- ・ 次回(第29回)は4月上旬に開催予定。「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準 AESJ-SC-F002:2010」改定の進捗確認することを目的とする。
- ・ AESJ-SC-F002の改定作業は予定より遅れており、改定内容の確定を待つと本分科会のスケジュールが遅延することが予想されるため、AESJ-SC-F002の改定の進捗を把握しつつ、AESJ-SC-F006の改定内容を検討していく方針が提示され承認された。
- ・ AESJ-SC-F002の改定内容のみならず、AESJ-SC-F006として最新の知見を反映した改定となるように検討する方針が提示され承認された。
- ・ AESJ-SC-F013及びAESJ-SC-F001は早急な改定が必要となるニーズやシーズが現時点では見当たらないことから、当面はAESJ-SC-F006の改定作業を優先し、改定内容がある程度確定した段階から、AESJ-SC-F013及びAESJ-SC-F001の改定作業に着手する方針が提示され承認された。

以 上